

札幌三角山放送局「月刊わっさむ」

札幌にわっさむの元気情報を発信

vol 27



和寒町の情報を札幌の皆さんに向け発信し、都市と農村の交流人口拡大を図るため、札幌三角山放送局で「月刊わっさむ」の放送をおこなっています。

放送日は毎月第4火曜日午後2時～2時30分（30分間）です。

■「月刊わっさむ」8月22日 第77回放送 わっさむハロウィーンプロジェクト 副会長 合田 俊幸さんが出演

9月30日に開催された「わっさむハロウィーン2017」について、ハロウィーン用の仮装衣装を着用しながらPRしていただきました。



「午前10時30分からスタートして、午後3時にフィナーレなのですが、夜はランタンの点灯式もあります。食べ物の販売や子どもたちの仮装もあります。町の中でパレードも行います」とわっさむハロウィーンについて話され、「カボチャの展示期間も長くっており、お越しただければ、仮装もできますので、ぜひお越しください」とわっさむハロウィーンの魅力を紹介しました。

■「月刊わっさむ」9月26日 第78回放送 JA北ひびき和寒基幹支所 販売課長 細川 重一さんが出演



10月8日に開催された「わっさむパンクンフェスティバル2017」のPRのため、電話で出演いただきました。

「去年は、台風の被害がありましたが、今年は、カボチャの収穫も順調に進んでいて、良い出来です」と話され「塩狩峠の演奏、よさこい、カボチャみこしやカボチャランタンづくりなどの催し物がたくさんあり、最後には、餅まきもやります。町内の農家の方と協力して盛り上げていきたいと思っています。たくさんお買い物していただき、和寒町のおいしい秋の味覚をご堪能ください」と呼びかけました。

■「月刊わっさむ」10月24日 第79回放送 伏見 淳也 産業振興課商工観光労政係長が出演



和寒町の名所「塩狩峠」について札幌圏の皆さんに向けてPRしました。

「塩狩峠は和寒町の南側に位置し、昔は、天塩の国と石狩の国と呼ばれていて、その境にある峠ということで塩狩峠と呼ばれるようになりました」と塩狩峠の名前の由来を話され、小説「塩狩峠」についてわかりやすく説明し、「塩狩峠」の魅力を広くPRしました。

また、塩狩峠記念館について「当時、三浦綾子さんが住んでいた家を利用して、執筆活動していた空間を再現しています。11月30日まで開館していますので、ぜひお越しください」と来館を呼びかけました。

☆三角山市場で農産物販売☆

9月23日(土)、三角山放送局のレンガの館ホールにて「第43回三角山市場」が開催され、毎週土曜日に交流施設ひだまりで野菜等の直売をしている恵みの市の皆さまにも協力していただき、採れたての野菜等を販売してきました。

販売ブースには開店と同時に行列ができるなど大盛況。来場者からは「札幌のスーパーより安い」「次はいつ来てくれるの?」「また買いたい」という声が相次ぎました。



◆放送を聴くためには

インターネット放送を聴くためには、三角山放送局のHP (<http://www.sankakuyama.co.jp>) をご覧ください。また、過去の放送内容は、図書館で聴くことができます。

札幌市内(西区周辺地域)でラジオ番組を聴くには、周波数 FM76.2MHz に合わせてください。

■お問い合わせ：総務課まちづくり推進係 (TEL 32-2421)